

カメムシによる 米への被害が 増えています！



注意

2025年もカメムシ類の発生は 多くなることが予想されます

昨年は県内全域で斑点米カメムシの発生が多く、広い地域で米の等級に影響を与えました。

また気象庁より、近畿の6～8月の平均気温は平年より高くなるとの予報が発表されました。

昨年の発生状況と気候から、今年も斑点米カメムシの多発が予想されます。

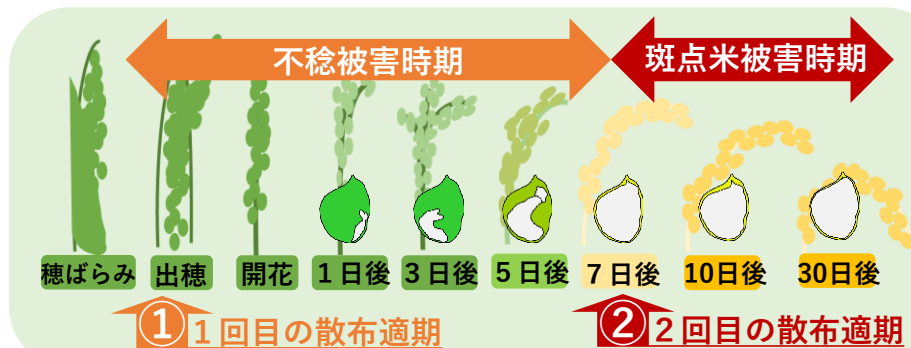
適期を狙い、積極的な防除を心がけましょう。



スタークル豆つぶでイネカメムシの被害を減らしましょう！

不稔を防ぐためなら①走り穂が出た時

斑点米を防ぐためなら②出穂7～10日後の使用がオススメ！



※スタークルには豆つぶのほかに、液剤、粉剤、粒剤もございます。

粉剤体系は**トレボン粉剤**もオススメ！
スタークルとは異なる系統の殺虫剤！



カメムシ・ウンカ防除剤

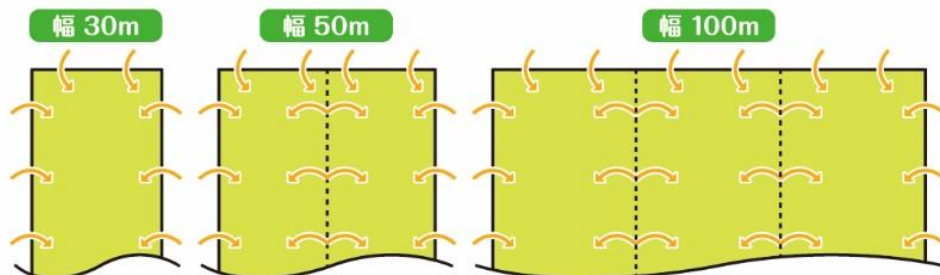
スタークル豆つぶの上手な使い方



スタークル豆つぶおすすめ散布方法



Q. イネが大きいけど、畦から散布でしっかり広がるの?



A. ひしゃく使用で、幅30mまでは大丈夫よ。30m以上はこの図を参考にしてね。



スタークル豆つぶ散布のコツ

- ① 深さ 3 ~ 5 cmの水を入れる
- ② ひしゃく半分くらいとる (約10g)
- ③ 5~7mおきにまく



スタークルの効き方

